

プロジェクト **ASAF 対応**  
 項目 **本日の審議**

### 本資料の目的

1. 本資料では、本日の企業会計基準委員会においてご議論いただく事項について説明することを目的としている。

### 2015 年 12 月の ASAF 会議における議題

2. 2015 年 12 月 7 日、8 日にロンドンで開催される ASAF 会議における議題は以下のとおり予定されている。

議 題	時間
蓋然性の用語に係る会計上の判断 (AASB/KASB)	60 分
開示に関する取組み－重要性に関する実務記述書	75 分
概念フレームワーク－認識 (ASBJ ショート・ペーパー)	60 分
退職後給付	60 分
のれん及び減損	60 分
IFRS 第 9 号と新保険契約基準の発効日の相違	75 分
共通支配下の企業結合 (IASB/HKICPA)	90 分
適用後レビュー (PIR) の役割	60 分
開示に関する取組み－今後の進め方	30 分
持分法会計 (EFRAG)	60 分
IASB によるプロジェクトの近況報告と ASAF の議題	60 分
主要財務諸表	
会計方針の変更	

3. 前回の ASAF 対応専門委員会及び当委員会では、次の項目に関する ASAF 会議における対応案についてご意見をいただいた。本日は、ご意見を踏まえて更新した資料を参考資料として配布している。
  - (1) 開示に関する取組み－重要性に関する実務記述書 (審議事項(1)-1 参考資料 1 参照)
  - (2) 持分法会計 (審議事項(1)-1 参考資料 2 参照)

## 本日の議題

4. 本日は、次の議題に関する ASAF 会議における対応案についてご意見をいただきたい。
  - (1) のれん及び減損（審議事項(1)-2 参照）
  - (2) 退職後給付（審議事項(1)-3 参照）
  - (3) 適用後レビュー（PIR）の役割（審議事項(1)-4 参照）
5. なお、概念フレームワーク（認識）については、当委員会が公表した ASBJ ショート・ペーパー・シリーズ第 2 号「概念フレームワークにおける認識規準」に基づいて議論がなされる予定であり、ASAF 会議において当委員会より説明を行う。また、IASB によるプロジェクトの近況報告については、これまでにいただいたご意見を踏まえ、適宜対応する予定である、
6. また、「開示に関する取組み－今後の進め方」（審議事項(1)-1 参考資料 3 参照）、「蓋然性の用語に係る会計上の判断」（審議事項(1)-1 参考資料 4 参照）及び「IFRS 第 9 号と新保険契約基準の発効日の相違」（審議事項(1)-1 参考資料 5 参照）については、原則として、資料配布によることを予定しており、本日の当委員会において議論を行うことは予定していない。

### ディスカッション・ポイント

2015 年 12 月開催の ASAF 会議への対応について、ご質問やご意見があればいただきたい。

以 上